

- この説明書にはMB100XSUを安全にご使用いただくため重要なことが書かれていますので、設置やご使用される前に必ずお読みください。
- バックアップ電源BU100XSの取扱説明書を先に読んで、バックアップ電源の取扱いを理解してから、バッテリーユニットの接続、増設を行ってください。

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

- この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

	危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

- : 禁止 (してはいけないこと) を示します。例えば は分解禁止を意味しています。
- : 強制 (必ずしなければならないこと) を示します。例えば はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険

分解、修理、改造をしないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。



内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、火傷をする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



危険 (製品の用途)

本製品を、下記の例のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないこと。(本製品は、パソコンなどのOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。)



- 人命に直接関わる医療機器やシステム
- 人身の安全に直接関連する用途。(例：車両・エレベータなどの運行、運転、制御など)
- 故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。(例：主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など)
- 上記に準ずる用途。

注意 (設置時)

製品の重量は20.5kgです。

重量に注意して取出しや運搬を行うこと。

- 落下するとけがをすることがあります。



梱包のポリ袋やフィルム類は幼児の手の届かない場所に移してください。

- 小さいお子様がかぶつたりのみ込んだりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



設定方向には指定があります。指定方向以外では設置しないこと。

- 設置方向は3ページ「2-1 設置をする」をご参照ください。
- 転倒や落下するとけがをすることがあります。



⚠ 注意 (設置時)

最高気温が40℃を超える場所で使用しないこと。

- バッテリーが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。
- バックアップ電源が故障したり、誤動作を起こすことがあります。



次のような場所で設置や保管をしないこと。

- 湿度が10%よりも低い／湿度が85%よりも高い／隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある／屋外など。
- 火災などの原因になることがあります。



⚠ 注意 (使用時)

バッテリー交換ランプが点灯、またはバックアップ時間が必要な時間よりも短くなった場合は、バッテリーパックをすぐ交換するか、バックアップ電源の使用を中止し、バッテリーパックを廃棄すること。



- 使用を続けると火災を起こすことがあります。
- バッテリーの点検方法についてはBU100XSの取扱説明書をご参照ください。

周囲温度	期待寿命
20℃	4～5年
30℃	2～2.5年

※ 左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。

上にものを乗せたり、金属物を落下させないことないこと。

- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。



密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

- 異常な発熱や火災を起こすことがあります。



濡らしたり、水をかけないこと。

- 感電したり、火災を起こすことがあります。



バッテリー接続コネクタ、増設コネクタに金属物を挿入しないこと。

- 感電する恐れがあります。



⚠ 注意 (バッテリー交換時)

バッテリーを金属物でショートさせないこと。

- 火傷をしたり、火災を起こすことがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



指定した以外の交換バッテリーは使用しないこと。

- 火災の原因となることがあります。
- 商品形式：形式名：BP100XS



新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用しないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを落下させたり、強い衝撃を与えないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、火災の原因になる恐れがあります。



お願い

購入されましたら、すぐに充電（8時間以上）してください。

- ご購入後長期間使用しないしていると、バッテリーの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
- バックアップ電源の「AC入力プラグ」を電源コンセント（商用電源）に接続すれば自動的にバッテリーを充電します。

バックアップ電源を保管される場合は保管される前に8時間以上充電を行ってください。

- バッテリーは使用しない場合でも自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- バックアップ電源に内蔵されたバッテリーの保管可能期間は、8時間以上充電した状態から6か月です。
- 保管期間が6か月を超える場合、超える前にバックアップ電源のAC入力プラグを8時間以上商用電源コンセントに接続してください。
- 保管中はバックアップ電源の停止スイッチを押し、停止状態にしてください。

バッテリーのリサイクル・廃棄について

- バックアップ電源には鉛バッテリー（鉛蓄電池）を使用しています。鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。鉛バッテリーの交換および使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルへご協力ください。
- バッテリー、製品のリサイクル、廃棄につきましては当社周辺機器メンテナンスサポート(TEL:0559-77-9039)へご連絡ください。^{Pb}



設置・保管場所について

- バックアップ電源を直射日光のあたる場所に設置や保管をしないでください。温度上昇により内蔵されたバッテリーが急速に劣化し、使用できなくなります。

1-1 製品を取り出す

⚠ 注意

本製品の重量は20.5kgです。重量に注意して取り出しや運搬を行うこと。

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。



不安定な場所へ設置しないこと。

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。



梱包箱をあけ、バッテリーユニットと付属品を取り出してください。

1-2 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。

万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

- 1. 取扱説明書 1冊
- 2. バッテリー接続ケーブル 1本
- 3. 保証書 1枚
- 4. ケーブル固定金具 2個

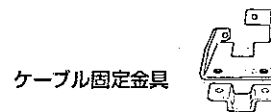


取扱説明書

保証書



バッテリー接続ケーブル



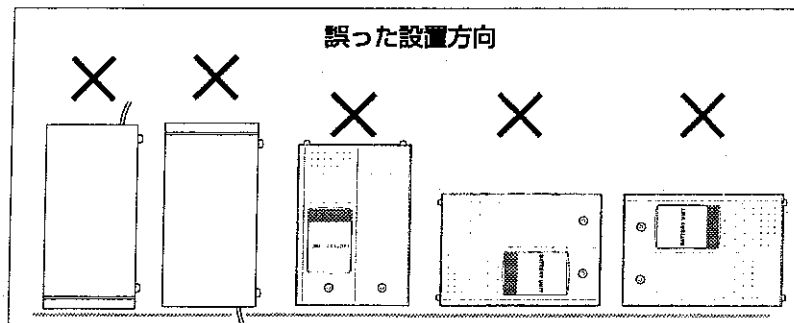
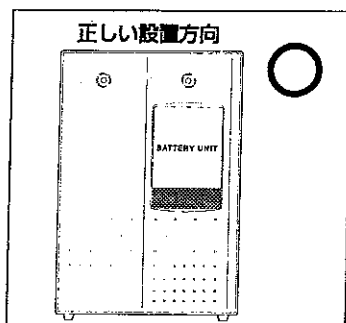
ケーブル固定金具



2-1 設置をする

バッテリーユニットを設置します。

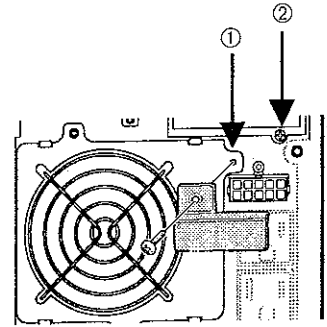
下図で指定した正しい設置方向以外では使用しないでください。



2-2 バッテリーユニットの接続

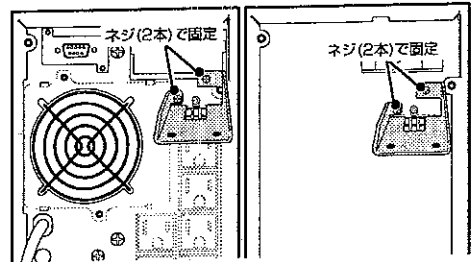
増設できるバッテリーユニットは1台のみです。

- (1) BUI100XS 背面のバッテリー増設コネクタのカバーを外します。①
信号カード増設スロットのカバー下側のネジもはずしてください。②

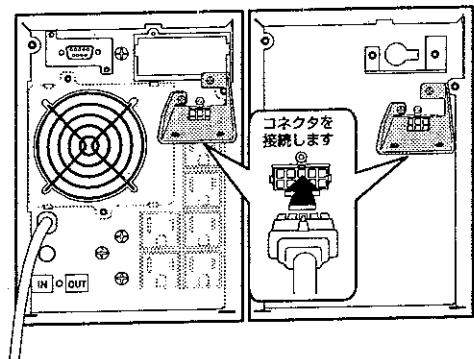


- (2) BUI100XS と MB100XS のリアパネルに金具をネジ(2本)で固定します。このとき、ケーブル固定金具は外しておきます。

●金具の固定は(1)ではずしたネジを使用してください。

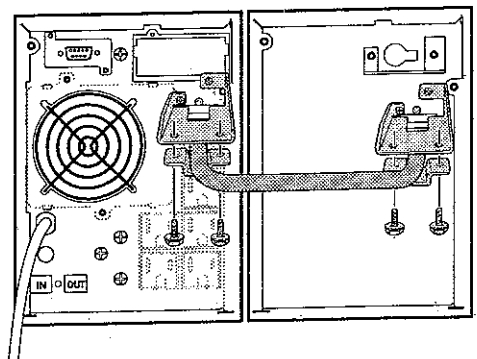


- (3) BUI100XS と MB100XS 背面のコネクタにケーブルのコネクタを接続します。



- (4) (2)で取り付けけた金具とケーブル固定金具でケーブルを挟み込むようにし、ネジ(各2本)で固定します。

バックアップ時間は1KVA/700Wの機器を接続した場合、
20分となります。(周囲温度20℃、バッテリー初期値)
また、充電時間は完全放電状態から24時間となります。



3 バッテリーの交換

このバッテリーユニットはお客様ご自身でバッテリー交換が可能です。

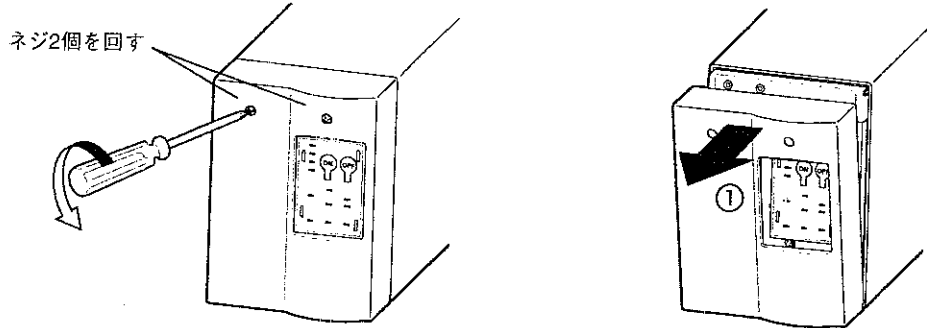
本製品は運転中（電源出力中）の状態でもバッテリー交換できます。停止（電源出力停止）状態でも交換できます。お客様のご都合のよい方法で交換を行ってください。

※ 運転状態でバッテリー交換を行う場合、バッテリーが接続されていない状態で停電など入力電源に異常が発生した場合、バックアップ運転をせずに停止します。

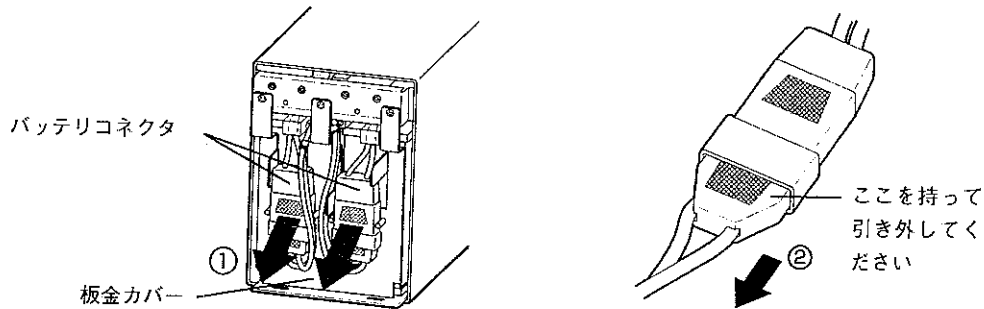
※ バックアップ運転中にバッテリー交換を行わないでください。バックアップ電源が停止します。

■ バッテリーの交換方法

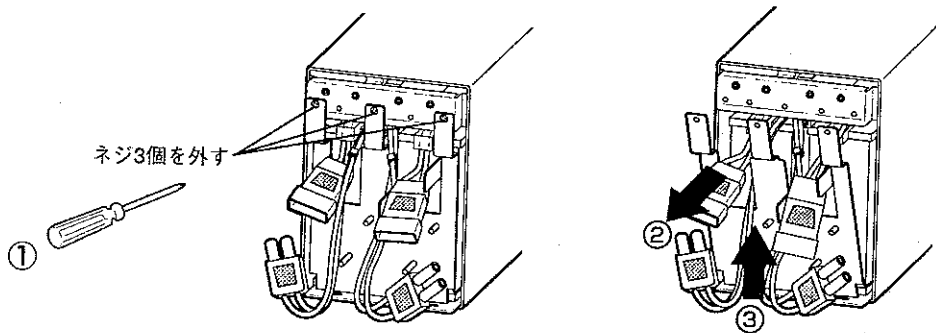
1. バックアップ電源のフロントパネル上側にあるネジ2個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで回します。(ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。) フロントパネルを手前に引き外します。①



2. 板金カバーからバッテリーコネクタ2個を取り①、コネクタを引き外します。②



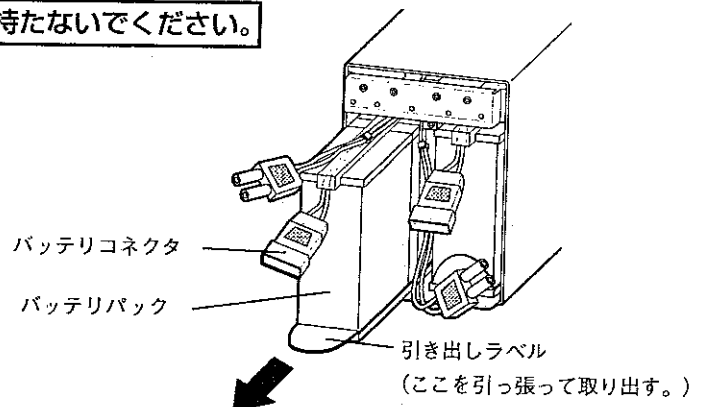
3. 板金カバーを止めてあるネジ3個を反時計回りに回して外します。① 板金カバーを手前に引き倒してから②、上に持ち上げ外します。③



4. バッテリーパック下段の引き出しラベルを持ってバッテリーパックを両方とも取り出します。

バッテリーパックのコネクタ、ケーブルは持たないでください。

バッテリーパックの天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cmでバッテリーが完全に取り出せます。バッテリー上部をしっかりと持ち、バッテリーを落とさないよう、注意してください。



5. 新しいバッテリーパック2個をバックアップ電源に奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリーパック

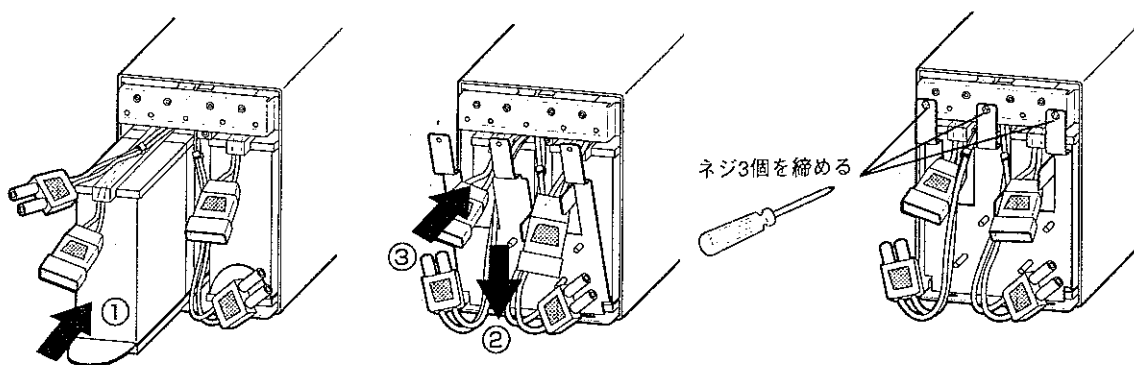
形式名 BP100XS

板金カバーを取り付けます。

カバー下側のツメを本体側の穴に差し込んだ後②、本体側へ押さえます。③

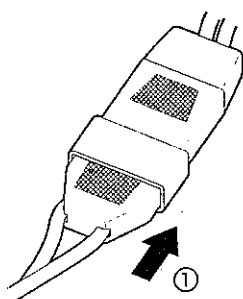
外したネジ3個をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。

このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。

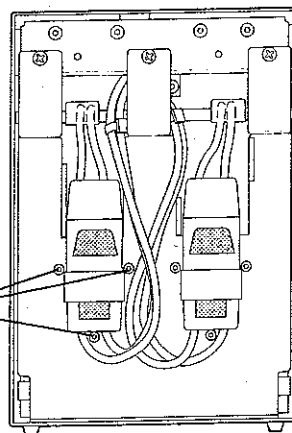


6. コネクタを止まるまで差し込みます。①
コネクタを板金カバーに固定します。②

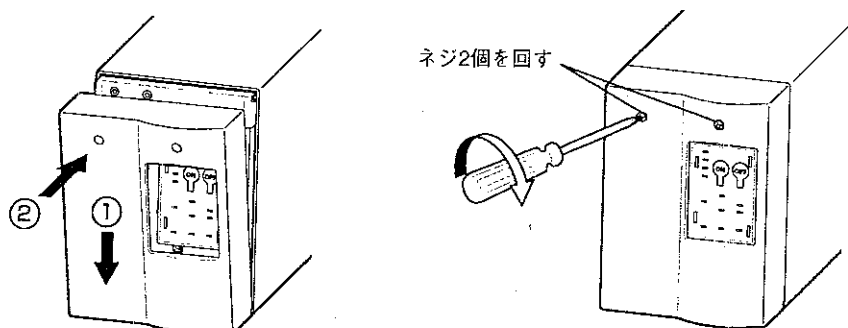
板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。
再度、コネクタを差し込みなおしてください。



板金カバーの
3つの支柱に
コネクタをは
め込んで固定
する。



7. フロントパネルを取り付けます。
 フロントパネル下側のツメを本体側の穴に差し込んだ後①、本体側へ押さえます。②
 フロントパネル上側にあるネジ2個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。



8. 以上でバッテリー交換完了です。

- バックアップ電源上面のラベルに、交換日付を記入してください。
- シャットダウンソフトをご使用の場合は、バッテリー交換日付を入力して更新してください。
- 交換後、「運転」スイッチを20秒以上押し、バッテリー交換後の自己診断テストを行ってください。

ブザーは下記のように鳴ります。

- ・「運転」スイッチを押し始めてから10秒まで：ブザー音なし。
- ・10秒から20秒まで：1秒に1回の間隔で鳴る。
- ・20秒以上：連続で鳴る。

ブザーが連続で鳴り始めたら「運転」スイッチを離してください。

10秒間隔、自己診断テストを開始します。

・バッテリー交換、機器の動作に異常がない場合は「異常」ランプ、「バッテリー交換」ランプは点灯せず、ブザーも鳴りません。

・「異常」ランプが点灯し、ブザーが連続で鳴る場合はBU100XSの取扱説明書22ページ「C. 故障（機器に異常があるときの表示・ブザー音）」の1項の対処方法に従って処置を行ってください。

・「バッテリー交換」ランプが点灯し、ブザーが連続で鳴る場合はバッテリーパックが完全に接続されていません。再度バッテリーコネクタの接続を確認してください。

◆お願い◆

交換後のバッテリーは速やか処分してください。

- 長期間保存しているとバッテリーから希硫酸が漏れる可能性があります。
- バッテリーの処分については、当社メンテナンスサポート(TEL:0559-77-9039)までご相談ください。

バッテリーのリサイクル・廃棄について

- バックアップ電源には鉛バッテリー（鉛蓄電池）を使用しています。鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。鉛バッテリーの交換および使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルへご協力ください。
- バッテリー、製品のリサイクル、廃棄につきましては当社周辺機器メンテナンスサポート(TEL:0559-77-9039)へご連絡ください。

